

小・中規模病院向け「オーダリングシステム」

A i t s O r d e r エイトス オーダー

ご 紹 介 資 料

● オーダリングとは？

これまで医師が手書きしていた処方箋や検査依頼書などを直接コンピュータに入力することにより、それ以降の業務(投薬や会計など)の省力化を行うものです。

オーダリングシステムを導入することにより、次のようなメリットが生まれます。

患者さんの待ち時間の短縮

「受付」 → 「診察」 → 「検査」 → 「投薬」 → 「会計」という病院業務の一連の流れをすべてコンピュータ化することで、非常に無駄のない効率的な診療(業務)を行うことができます。これにより、患者さんの待ち時間を大幅に短縮することができます。

インフォームドコンセントへの利用

検査結果のグラフや撮影画像(レントゲンやCT)などを、診察室に設置された端末から簡単に参照することができ、患者さんへのインフォームドコンセント(説明)に利用することで、患者さんへのサービスの向上につながります。

医療事故の防止効果

投薬ミスや点滴ミスなどによる医療事故の発生が年々増加しており、社会的に非常に問題になっています。

オーダリングシステムを導入した場合、医師による処方や検査などの指示内容(データ)を、院内ネットワークに接続された端末ですべて共有することができます。このように、患者さんの診療データを一元的に管理して、検査機器や調剤機器などさまざまな機器やシステムと連動することにより、指示内容の転記ミスや誤入力などを防ぎ、医療事故(ミス)の防止に貢献できます。

業務の大幅な省力化

医事会計システムと連動することにより、患者情報や診療情報などのデータを相互利用することができ、会計時の事務作業を大幅に効率化することが可能になります。

また、これまで医師が指示書(処方箋や検査依頼書など)を発行した場合、その指示は当然ながら該当する各部署へ届ける必要があり、看護婦さんやその他の職員の方が運搬したり、患者さんが直接に指示書を持ち運んだりしていましたが、オーダリングを使用するとその必要がなくなります。

これにより、看護婦さんや職員の方が本来の業務に専念することができ、よりいっそう患者さんへのケアやサービスを充実させることができます。

● エイトスオーダーの特徴

圧倒的な低コストでの導入・運用を実現

これまでの一般的なオーダリングシステムとは、「オーダリング」関連の機能と「医事会計」機能がすべて統合されたシステムであり、データを一元化して処理できるというメリットがある反面、システムとして医事会計を切り離すことができないため、法改正にともなうシステムの更新作業が膨大になり運用や保守にかかる負担が大きく、それに伴うシステムの維持コストが増大するというデメリットがあります。

そのため、オーダリングシステムを実際に導入できるのは、大学病院や比較的に規模の大きい病院に限られてきました。

エイトスオーダーでは、日立メディカルコンピュータ株の医事会計システム「MEDICAL-8」と連動することにより、「オーダリング」機能と「医事会計」機能が完全に分離されています。そのため、法改正が行われた場合でも医事会計システムだけを更新すれば対応できます。

これにより、これまででは考えられないような低コストでのシステムの「導入」・「運用」・「保守」を実現できます。

モジュール単位での機能拡張

エイトスオーダーでは、必要な機能だけをモジュール(部品)単位で導入することができますので、例えば[オーダリングの基本機能]+[入院状況]だけに絞って導入したい」というようなご要望にもお応えすることができます。

これにより、システムの初期導入コストを抑えることができ、「画像管理」や「検査結果管理」は将来必要になった時点で導入するといったことも可能になります。

また、オプション機能として「電子カルテ 機能」も搭載しておりますので、オーダリングの機能を拡張する形で、電子カルテシステムへアップグレードすることができます。

充実した多数の機能を搭載

オーダリングに必要な処方箋や検査依頼書の発行などの基本的な機能に加えて、画像管理や検査グラフの表示、バイタル(血圧や体温など)管理など、インフォームドコンセントに最適な数々の機能を搭載しております。

また、「病棟のそのままのイメージを画面上で再現した入院状況・空室照会」管理など、他社製のオーダリングシステムにはないユニークで便利な機能も多数搭載しております。

●エイトスオーダー 機能一覧

「オーダーリング機能」

処方オーダー 注射オーダー 検査オーダー X線オーダー 処置オーダー 手術オーダー リハビリオーダー 食事オーダー
オーダー状況確認 定期処方(注射)の一括オーダー

「拡張機能」

病歴管理 画像管理 検査結果管理・グラフ表示 文書管理 付箋入力 看護ワークシート 検温(バイタル)管理 予約管理
受付(診察)状況 入院状況・空床照会 患者検索 音声入力

「電子カルテ機能」

タブレットPC対応の手書きカルテ入力 画像添付 シェーマ入力 家族情報管理 カルテ印刷 紙カルテのファイリング管理

「帳票印刷」

各種マスター一覧リスト 患者別病名一覧表 入院患者一覧表 オーダー履歴一覧表 食事实施予定一覧表 薬剤集計一覧表
病名集計一覧表 患者・薬剤・点滴ラベル印刷 薬袋印刷 その他...

直感的で分かりやすいインターフェースのオーダー入力画面

直感的で分かりやすさを追求したインターフェースを採用することで、素早く、そして正確な入力をサポートいたします。

マウス・キーボードのどちらの入力にも対応していますので、「マウスで簡単に入力したい」、「キーボードだけで素早く入力したい」というように、使う方の好みに応じて自由に使い分けて入力できます。

また、各操作ボタンには、機能毎にアイコンが表示されていますので、パソコンに不慣れな方でも簡単に操作することができます。

「処方オーダーの入力画面」

No.	行名	処方名	薬品名	使用量	単位	回数
1. 210		【内服】<【錠剤】>	ガスター錠10	1.00	錠	7
2. 220		【内服】<【錠剤】>	パファジン錠1	3.00	錠	1

「処方のDO入力画面」

処方日別で表示された処方から、選択された処方をワンクリックで入力できます。

No.	行名	処方名	薬品名	使用量	単位	回数
1. 210		【内服】<【錠剤】>	ガスター錠10	1.00	錠	7
2. 220		【内服】<【錠剤】>	パファジン錠1	3.00	錠	1

「定期処方の入力・設定画面」

登録された定期処方を元にして、一括して(入院患者の)処方箋を発行できます。

「薬歴管理 画面」

月単位の薬歴データを画面や帳票として確認できます。

No.	行名	処方名	薬品名	使用量	単位	回数
1. 210		【内服】<【錠剤】>	ガスター錠10	1.00	錠	7
2. 220		【内服】<【錠剤】>	パファジン錠1	3.00	錠	1

No.	行名	処方名	薬品名	使用量	単位	回数
1. 210		【内服】<【錠剤】>	ガスター錠10	1.00	錠	7
2. 220		【内服】<【錠剤】>	パファジン錠1	3.00	錠	1

処方ラベルの印刷

入力されたオーダー(処方や検査など)内容を、専用のラベルプリンタへダイレクトに出力することができます。
出力されたラベルを、カルテ(2号用紙)の処方欄にそのまま貼付することで、カルテに手書きで記入する手間を省略することができます。

「処方オーダーの入力 画面」



(処方や検査等のデータを入力してオーダーします)



「処方ラベルの印刷 画面」



([ラベル印刷]ボタンをクリックします)



「ラベル印刷の専用プリンタ」

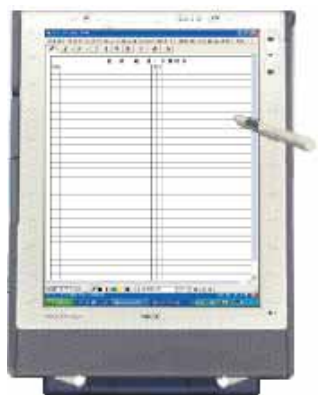


(処方ラベルが印刷されます)

手書き入力できる電子カルテ (オプション機能)

タブレット PC に完全対応したカルテの手書き入力機能をオプション機能として搭載しています。 そのためキーボードやマウス操作が苦手な方でも簡単に操作することができます。 タブレット PC を使用することで、紙カルテの使い勝手をコンピュータ上で完全に再現することが可能になり、これまでの電子カルテシステムとは全く異なるストレスのないスムーズな入力を実現します。

また、タブレット PC 独自の機能として手書き入力以外にも、手書き文字認識によるテキスト入力や、シェーマなどの画像イメージの貼り付け、消しゴム機能を使った文字の消去などタブレット PC に最適化された便利な機能が数多く搭載されています。



(ピュアタブレットPC)



(ノート型タブレットPC)



(カルテ入力画面)



(シェーマ選択画面)

画面に表示されたカルテ(イメージ)に直接ペンで記入できますので、はじめての方でも簡単に使用することができます。

ペンの色や太さなども好みに応じて自由に選択することができます。

記入するカルテ(イメージ)は、テンプレートとして複数の様式を登録して使用できるので、例えば外来用や入院用など入力するページ毎に自由に使い分けることができます。

また、記入されたカルテを一度保存すれば、次に同じページに記入する場合に追記はできますが消去することができないようになっており、紙カルテと比較しても全く違和感なく使用することができます。

このように、1999 年 4 月に当時の旧厚生省が定めた電子カルテの 3 基準「真正性・見読性・保存性」に対応しておりますので、安心してお使いいただけます。

音声によるデータ入力

(オプション機能)

マウスやキーボードによる一般的な入力、そしてタブレットペンを利用した手書き入力に加えて、**音声による入力に対応**しています。コンピュータに不慣れでキーボードが苦手な方でも音声入力を利用すれば、熟練したオペレータに勝るとも劣らないスピードで簡単に入力できます。音声認識エンジンには、現在市販されている音声認識ソフトの中でも抜群の認識精度を誇る「ドラゴンスピーチ」(スキャンソフト)を利用しています。このドラゴンスピーチは、さまざまな業種別の専門用語に対応すべく、各業種別のボキャブラリ(音声辞書)を使用することができるようになっています。特に専門用語が多い医療に関しては、「一般医療」・「放射線科」・「歯科」・「臨床検査」といった各分野ごとの辞書が別途用意されています。

「音声入力に利用可能なマイク」



(手持ち型マイク)



(卓上マイク)



(USB ピンマイク)



(コードレスヘッドセット型マイク)

多彩な編集機能を備えた画像管理

画像診断の専用システムに匹敵するほどの充実した編集・管理機能を標準で搭載しており、登録された画像はいつでも簡単に見ることができます。専用の画像編集ツールを使用して、画像の縮尺や明るさ、コントラストなど自由自在に編集することができます。

また、医療機器で作成された画像ファイルの他に、市販されている(*1)デジタルカメラや(*1)イメージスキャナから直接 画像を取り込むことも可能です。

オプション機能としてDICOM画像の表示に対応。

「画像管理 画面」

画像は撮影日ごとに時系列でサムネイル(一覧)表示されます。



「画像編集 画面」

画像の縮尺や明るさ、コントラストなどをリアルタイムで自由に変更できます。

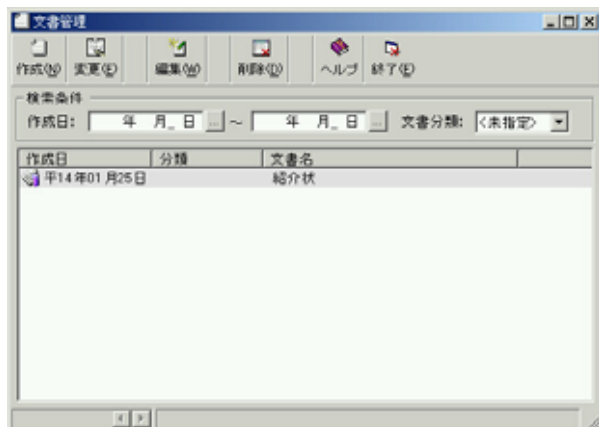


(*1) TWAIN 規格に対応したデバイスのみ

紹介状や診断書などの文書を作成・管理できます

紹介状や診断書など、普段よく作成する文書のフォーマット(書式)を登録することで、必要な時にワンタッチでテンプレートとなる文書を作成することができます。また、作成された文書ファイルはデータベースに自動的に登録されますので、後から文書を簡単に参照することができます。テンプレートとなる文書は、科別や医師別などに分類して登録でき、文書も Windows に標準で付属するワープロソフトを使用して簡単に作成できます。また、市販のイメージスキャナを利用して、文書(紙)イメージをファイリング管理することもできます。

「文書管理 画面」

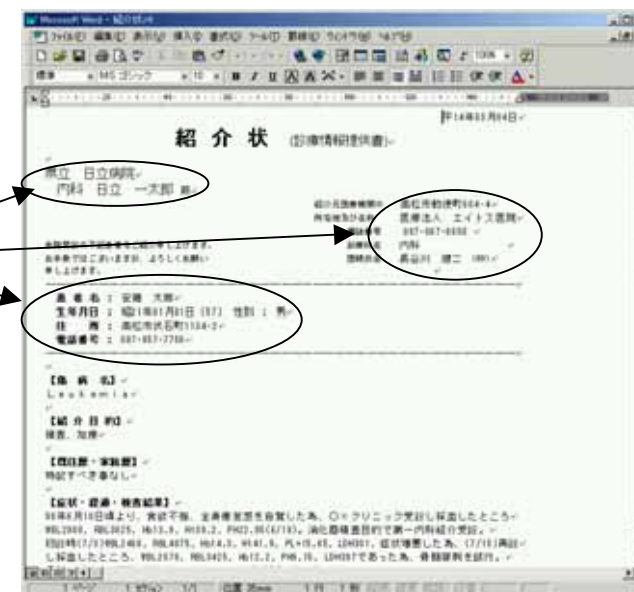


「文書選択 画面」



「テンプレート文書の入力 画面」

市販のワープロソフトを利用して自由に文書を作成できます。



紹介先や患者情報、病院(医師)情報など
設定された位置に自動的に挿入されます。

診察や検査などの予約を一元的に管理できます

診察や検査など日々の予約スケジュールを簡単に管理することができます。入力されスケジュールは、画面上で簡単に表示できますので、院内のすべての端末でいつでも参照することができ、スケジュール管理の負担を大幅に軽減できます。

また、予約データの入力時に、次回の予約日時などが記載された予約票を簡単に印刷することも可能です。

その他に、診察や検査などの各予約項目ごとに、「予約の設定間隔(分)」や「予約の設定範囲(分)」などの細かい条件を設定する事もできます。

「予約管理 画面」

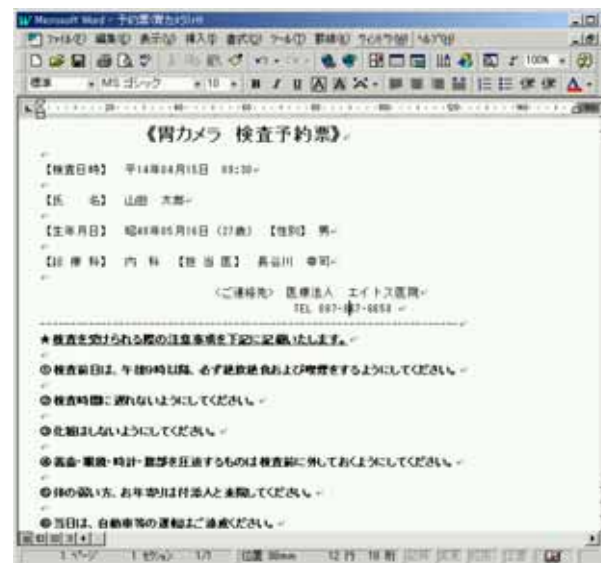
診察や検査などの各項目別に予約状況を画面で確認できます。



時間	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)
07:30							
08:00							
08:30			00 大原 礼子			00 安藤 太郎	
09:00					00 橋 若菜		
09:30		00 菅島 清	00 水原 まこ				
10:00							
10:30				00 安藤 太郎, 00 丸山 恵子			
11:00				00 金本 嗣			
11:30			30 小川 貴文			00 鈴木 久美	
12:00				00 安藤 太郎			
12:30			30 金子 利				
13:00							
13:30							
14:00							
14:30							
15:00							
15:30							
16:00							
16:30							
17:00							
17:30							
18:00							
18:30							
19:00							
19:30							
20:00							
20:30							

「予約票の出力サンプル」

各予約項目ごとに予約票のテンプレートを設定できます。



《胃カメラ 検査予約票》

【検査日時】 平14年04月15日 08:30+

【氏 名】 山田 太郎+

【生年月日】 昭49年05月16日 (27歳) 【性別】 男+

【診療科】 内 科 【担当医】 長谷川 幸司+

【ご連絡先】 医療法人 エイトス医療
TEL 097-943-6658

★検査を受ける際の注意事項を下記に記載いたします。

- ① 検査前日は、午後9時以降、必ず絶食（絶食および嚥下を避けるようにしてください）。
- ② 検査当日は、午前7時以降、必ず絶食（絶食および嚥下を避けるようにしてください）。
- ③ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ④ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑤ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑥ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑦ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑧ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑨ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。
- ⑩ 検査当日は、検査前夜に下痢を避けるようにしてください。

オーダー状況をリアルタイムに画面上で監視できます

処方や検査などのオーダー状況を、画面上でリアルタイムで確認することができます。

診察室や病棟などからオーダーすると、各部署(薬局や検査室など)のプリンタから指示箋(依頼書)が発行されますが、その時に各部署にある端末から現在のオーダー状況を画面で簡単に把握することが可能になります。

「オーダー状況の確認画面」

画面は設定された間隔(分)ごとに自動的に更新されます。

指示番号	時間	患者番号	氏名	外/入	指示	種別	区分	担当医	指示書
4	16:20	0000005-1	江口 智美	入院	新規	処方	臨時	木下 康	
5	16:28	0000007-1	植村 尚子	入院	新規	処方	臨時	木下 康	
2	16:27	0000002-1	小松 武	入院	新規	処方	臨時	木下 康	
3	16:27	0000004-1	米原 まこ	入院	新規	処方	臨時	木下 康	
1	16:26	0000001-1	安藤 太郎	入院	新規	処方	臨時	長谷川 健二	

現在の入院状況や空床照会も簡単に確認できます

実際の病棟のイメージそのままに、画面上で現在の入院状況が簡単に確認できます。入院や退院、病室の変更なども、マウスで画面上のベッドを選択するだけで、だれでも簡単に設定することができます。

入院状況は、すべての端末で参照できますので、例えば病棟で病室の変更が行われても、すぐさますべての端末に変更が反映されます。

患者検索を利用すれば、フリガナで入院患者を瞬時に検索できますので、例えば受付にお見舞いの方が来られたような場合にも、病室をすぐさま案内することができます。

「入院状況・空床照会 画面」

入院状況・空床照会 画面

表示条件
形式: 病棟別 一覧表 病 棟: 2F 3F

患者検索(C)

入 院印

退 院印

外出・外泊印

病室変更(M)

予 約印

印 刷印

再表示印

ヘルプ印

入院患者:30名 退院患者:10名 予約患者:10名 空床:3床

「患者検索 画面」

フリガナ検索できます。選択患者のベッドを表示させることも可能です。

患者検索 画面

検索条件
フリガナ: 病 棟: 未指定

患者番号	氏 名	フリガナ	生年月日	病 棟	病 室
0000001-1	安藤 太郎	アノウ タロウ	昭和40年01月01日	2F	206室
0000002-1	山下 敏夫	ヤマノ トモオ	昭和40年11月02日	2F	206室
0000003-1	金子 剣	カナノ ツルギ	昭和40年12月12日	2F	201室
0000004-1	山下 敏夫	ヤマノ トモオ	昭和40年12月02日	2F	206室
0000100-0	注 明				
0000100-1	注 明				
0000005-1	注 明				
0000006-1	注 明				
0000007-1	注 明				
0000008-1	注 明				
0000009-1	注 明				
0000010-1	注 明				
0000101-1	注 明				
0000102-1	注 明				
0000103-1	注 明				
0000104-1	注 明				
0000105-1	注 明				
0000106-1	注 明				
0000107-1	注 明				
0000108-1	注 明				
0000109-1	注 明				
0000110-1	注 明				

検索: 0 印刷: 印刷/再印刷 閉じる

「入院(退院)予約 画面」

入院や退院の予約管理を行います。

入院(退院)予約 画面

検索条件
区 域: 全て 入院 退院 外出 再入 病 棟: 未指定

予約日: 2011年04月01日 ~ 2011年04月30日

患者番号	患者氏名	予約日時	区 域	病 棟	病 室
0000001-1	安藤 太郎	04月01日00:00	入	2F	201室
0000002-1	山下 敏夫	04月01日00:00	入	2F	206室
0000003-1	金子 剣	04月01日00:00	入	2F	201室
0000004-1	山下 敏夫	04月01日00:00	入	2F	206室
0000005-1	注 明	04月01日00:00~04月01日12:00	出	2F	206室
0000006-1	注 明	04月01日00:00~04月01日12:00	入	2F	206室
0000007-1	注 明	04月01日00:00~04月01日12:00	入	2F	206室

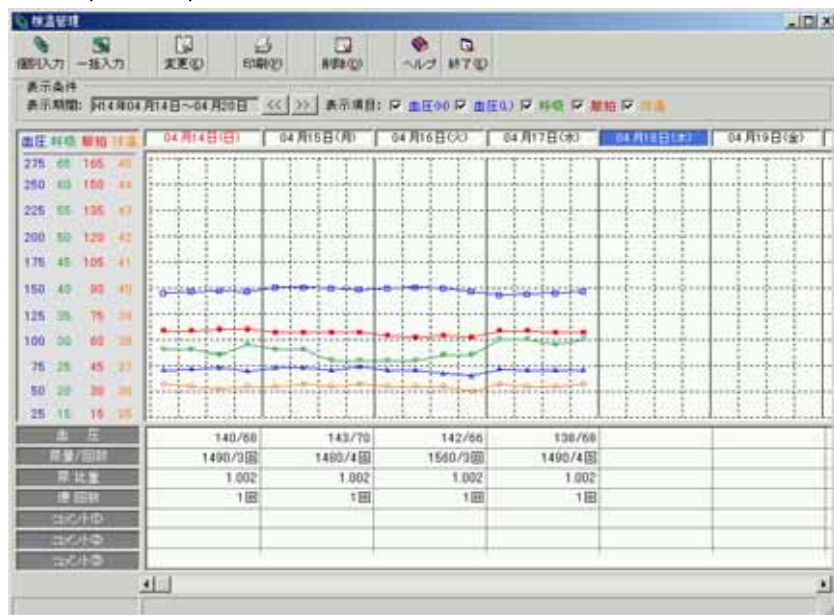
予約印 変更印 削除印 印刷印 ヘルプ 閉じる

検温(バイタル)の管理も簡単です

血圧や脈拍、体温などの入力も簡単にできます。入力されたデータは画面ですぐさまグラフ表示されますので、簡単に確認できます。カラーインクジェットプリンタを使用すれば、画面のイメージそのままのグラフを印刷することができます。

また、入力方法も、個別(患者)別に各種のデータを入力する方法と、病棟別に入院患者のデータを一括して入力する方法の2種類あります。

「検温(バイタル)管理 画面」



「検温データの一括入力 画面」

病棟別に入院患者のデータを一括入力できます。

The screenshot shows the 'Batch Input of Temperature Data' (検温データ一括入力) interface. It contains a table with columns for '病室' (Room), '患者名' (Patient Name), '血圧' (Blood Pressure), '脈拍' (Pulse), '体温' (Temperature), '呼吸数' (Respiratory Rate), '測定回数' (Number of Measurements), and '測定時刻' (Measurement Time). The table lists several patients, including 本間 まこ, 植村 尚子, 江口 智美, 山口 恵子, 佐藤 シンゴ, 横口 和, 船田 浩吉, 高田 浩人, 山田 守, 山田 和夫, 山田 浩, 山下 実香, and 山田 正香. The first two rows have data entered for blood pressure, pulse, and temperature.

病室	患者名	血圧	脈拍	体温	呼吸数	測定回数	測定時刻
201①	本間 まこ	62	28	36.5	1490	3	1.002
201②	植村 尚子	68	30	36.8	1520	3	1.001
201③	江口 智美						
202①	山口 恵子						
202②	高田 浩吉						
203①	佐藤 シンゴ						
203②	横口 和						
203③	船田 浩吉						
203④	高田 浩人						
204①	山田 守						
204②	山田 和夫						
204③	山田 浩						
204④	山下 実香						
205①	山田 正香						

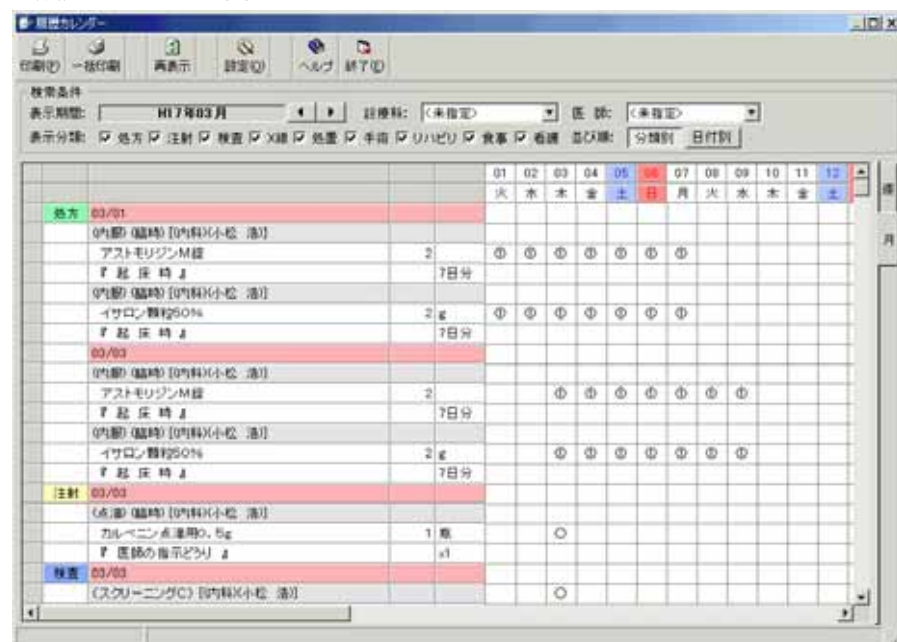
診療履歴のカレンダー出力にも対応

過去から現在までの診療履歴をカレンダー(週・月単位)に自動展開して表示(出力)することができます。

特に入院の場合など、過去から現在までの診療履歴を画面で確認しながら今後の診療内容を計画したりする場合などに特に有効です。

また、処方や検査などの通常のオーダー内容の他に、看護ワークシートの内容も展開できますので、病棟で「指示簿」としての利用も可能です。
病棟で利用する場合は、各病棟ごとの一括印刷にも対応していますので、病棟での看護業務を強力にバックアップします。

「履歴カレンダー 画面」



「(週)履歴カレンダーの出力サンプル」



日	月	火	水	木	金	土
01	02	03	04	05	06	07
08	09	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

さまざまな条件を指定した患者検索

診察日や性別などの一般的な条件はもとより、病名や処方薬、検査項目などを指定した複雑な検索も自由自在です。
どのような複雑な条件を指定しても、膨大なデータの中から条件に該当する患者だけを瞬時に検索できます。

「患者検索 画面」(全般条件)

検索条件

全般() | 患者() | 病歴() | 処方() | 注射() | 検査() | X線() | 処置() | 手術()

検索日: 年 月 日 ~ 年 月 日

検索時刻: (未指定) 検索時間: (未指定)

検索(F)

取り消し(C)

閉じる(Q)

患者番号	患者氏名	区	生年月日	診療科	担当医	最終診療
0000101-1	中田 孝司	入	昭和2年03月03日06	外科	橋本 孝	
0000103-1	川口 敏夫	入	昭和4年10月11日02	外科	橋本 孝	
0000105-1	広山 治	入	昭和4年12月10日06	外科	橋田 重	
0000107-1	重田 重吉	入	昭和5年10月20日01	外科	橋本 孝	
0000109-1	藤原 重	入	昭和9年10月23日07	外科	橋本 孝	
0000001-1	安藤 大郎	入	昭和21年01月01日07	内科	長谷川 健二	平成4年04
0000011-1	佐藤 シンゴ	入	昭和46年12月07日00	内科	長谷川 健二	平成13年12
0000111-1	並木 誠	入	昭和40年10月22日06	外科	橋本 孝	
0000113-1	和久井 由美	入	昭和49年12月10日07	外科	橋田 重	
0000115-1	杉田 聡	入	昭和47年10月23日09	外科	橋田 重	

ページ: 1/1 件数: 09件

「患者検索 画面」(病歴条件)

検索条件

全般() | 患者() | 病歴() | 処方() | 注射() | 検査() | X線() | 処置() | 手術()

病名: 胃潰瘍 転移: 転移

病名: 転移 転移: (未指定)

病名: 転移 転移: (未指定)

診断日: 年 月 日 ~ 年 月 日 診断時間: (未指定)

転移日: 年 月 日 ~ 年 月 日

検索(F)

取り消し(C)

閉じる(Q)

患者番号	患者氏名	区	生年月日	診療科	担当医	最終診療
0000101-1	中田 孝司	入	昭和2年03月03日06	外科	橋本 孝	
0000103-1	川口 敏夫	入	昭和4年10月11日02	外科	橋本 孝	
0000105-1	広山 治	入	昭和4年12月10日06	外科	橋田 重	
0000107-1	重田 重吉	入	昭和5年10月20日01	外科	橋本 孝	
0000109-1	藤原 重	入	昭和9年10月23日07	外科	橋本 孝	
0000001-1	安藤 大郎	入	昭和21年01月01日07	内科	長谷川 健二	平成4年04
0000011-1	佐藤 シンゴ	入	昭和46年12月07日00	内科	長谷川 健二	平成13年12
0000111-1	並木 誠	入	昭和40年10月22日06	外科	橋本 孝	
0000113-1	和久井 由美	入	昭和49年12月10日07	外科	橋田 重	
0000115-1	杉田 聡	入	昭和47年10月23日09	外科	橋田 重	

ページ: 1/1 件数: 09件

「患者検索 画面」(処方条件)

検索条件

全般() | 患者() | 病歴() | 処方() | 注射() | 検査() | X線() | 処置() | 手術()

薬剤ID: 内 外 アイロニール錠2

薬剤ID: 内 外

薬剤ID: 内 外

検索(F)

取り消し(C)

閉じる(Q)

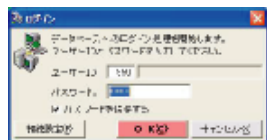
患者番号	患者氏名	区	生年月日	診療科	担当医	最終診療
0000101-1	中田 孝司	入	昭和2年03月03日06	外科	橋本 孝	
0000103-1	川口 敏夫	入	昭和4年10月11日02	外科	橋本 孝	
0000105-1	広山 治	入	昭和4年12月10日06	外科	橋田 重	
0000107-1	重田 重吉	入	昭和5年10月20日01	外科	橋本 孝	
0000109-1	藤原 重	入	昭和9年10月23日07	外科	橋本 孝	
0000001-1	安藤 大郎	入	昭和21年01月01日07	内科	長谷川 健二	平成4年04
0000011-1	佐藤 シンゴ	入	昭和46年12月07日00	内科	長谷川 健二	平成13年12
0000111-1	並木 誠	入	昭和40年10月22日06	外科	橋本 孝	
0000113-1	和久井 由美	入	昭和49年12月10日07	外科	橋田 重	
0000115-1	杉田 聡	入	昭和47年10月23日09	外科	橋田 重	

ページ: 1/1 件数: 09件

データの改ざんや漏洩を防止するセキュリティ機能

【データ漏洩を防止するユーザー認証機能】

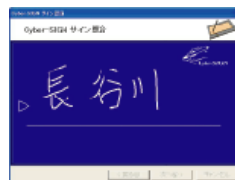
大切なデータの第三者による改ざんや漏洩を防ぐためのさまざまなセキュリティ機能が搭載されています。
システムの起動時に使用者を特定するためのID(パスワード)認証機能を標準で搭載しています。
また、必要に応じて指紋認証やサイン認証といった高度な認証プログラムをオプションにてご用意しております。



(ID・パスワード認証)



1(指紋認証)



1(サイン認証)

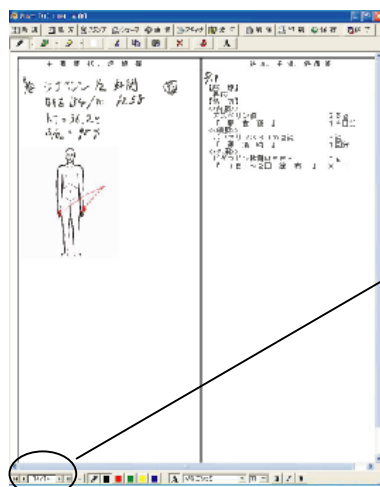


1(USB キー認証)

1 オプション対応

【カルテの改ざんを防止する機能】

カルテの真正性を確保するために、カルテの作成日時はもちろんのこと、追記(訂正)された際の更新日時もすべてページ毎に記録されます。
これにより、いつ・誰がどのようにカルテに記載したのかという情報をいつでも確認することができます。
また、間違えて記載されたカルテ(ページ)を削除した場合でも、画面上は表示されるページから消えますが、過去に記載されたすべてのページはデータとして永久に保存される仕様になっていますので、ゴミ箱機能を使用することでいつでも復元したデータをプレビューすることが可能です。



(カルテのページ更新情報 画面)



(カルテのゴミ箱 画面)

病診(病病)連携への対応

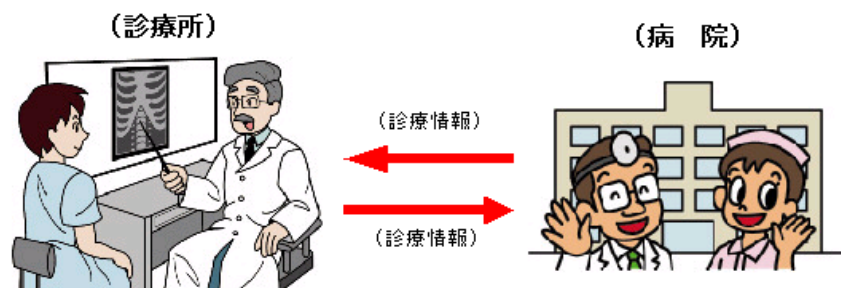
地域の医療機関による診療データの相互利用が、今後ますます本格化すると予想されています。このような医療機関のニーズに対応するため、本システムではカルテや画像などの診療データを汎用データに変換する機能を標準で搭載しています。

これらの機能を使用して出力されたデータを、ブロードバンドを活用して電子メールで外部の医療機関と相互に診療データのやりとりを行うことができます。

最近では、電子メールのデータを暗号化する市販のツールなども豊富にありますので、セキュリティも万全です。

このように少ない投資で非常に簡単に医療機関の相互の連携システムを構築することが可能です。

【病診連携イメージ図】



【汎用データ形式に変換された診療情報】

(HTML 化された電子カルテ)



(HTML+JPEG 化された画像データ)



カルテや画像データの送信は、送信ボタンをクリックするだけでデータの作成からメールの送信(画面表示)までがすべて自動的に処理されます。

作成されたデータは添付ファイルとしてメールに自動添付されますので、あとはメールソフトの送信を実行するだけです。

データはすべて汎用形式に変換されますので、(データを受信する)相手先は特別なソフトやハードなど一切必要なく、通常のインターネットメールを受信できる環境であれば即座に利用できます。

往診に対応するためのモバイル機能を搭載 (オプション機能)

モバイル機能を利用すると、患者さん毎の過去のデータ(診療データや電子カルテなど)をすべてタブレットPC(ノートパソコン)に転送して自由に持ち運びできます。

これにより、往診時などに患者宅で院内と同様にデータの閲覧や入力が可能になります。

往診時に院外で入力されたデータは、帰院後に院内サーバーと接続してデータ転送を行うだけで院内のデータと自動的に同期されます。

【モバイル機能の運用イメージ】

過去のデータをタブレットPCに転送する



患者宅へ。往診時に診療データの入力(電子カルテの記入など)



この時に転送するデータはあらかじめ設定された条件に応じて自動的に転送できます。
そのため、曜日別など往診のスケジュールに従って条件を自由に設定することができます。



データ転送を実行すると、自動的にデータが同期されます。

往診時に入力されたデータを院内サーバーに転送する。



(サーバー)

